

I 各市提出議題

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案（ ・ ・ 第 回総会； 市）		
種類	<input type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input checked="" type="checkbox"/> その他（県に方向性の提示を求めるもの）	分野	<input checked="" type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input type="checkbox"/> 国 担当省庁 <input checked="" type="checkbox"/> 県 担当部局 企画振興部 <input type="checkbox"/> その他 名 称		
件名	1 県内公共交通機関のキャッシュレス化推進に向けた、県としての積極的な方向性の提示について		
提案市	松本市		
提案要旨	県内公共交通機関のキャッシュレス化推進を取組内容の一つとして、昨年度県は「長野県公共交通活性化協議会」を立ち上げた。コロナ禍を通じてICT技術が進展し、県民のICT受容性が高まっている状況を踏まえ、県内外、さらには海外からの来訪者に対するシームレスな移動環境を提供するため、協議会設置主体である県には、キャッシュレス決済手段について、それぞれの地域特性を考慮しながら、主体的かつ積極的な方向性の取りまとめ及び提示を要望する。		
提案理由	県内の一部地域においては、すでに公共交通機関のキャッシュレス化が進展している。他方、長野県公共交通活性化協議会では「市町村を跨いだ公共交通利用者が容易に使用可能な決済手段を導入する必要がある。」としていることから、県としての積極的な方向性の提示を要望する。		
現況及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・長野市は、KURURUを、令和7年春に地域連携ICカード（Suica）へ移行する方針を公表 ・上田市では、市内全路線で県内IT企業が開発し、社会実装を見据えたQRコード決済ツール「チケットQR」の実証実験を実施 ・長電バス奥志賀高原線、白根火山線でVISAタッチ決済を導入 ・松本市では、本年4月からチケットQRによる実証実験を開始 ・平成30年度に「地域における移動手段の確保・補完に関する検討会」で「地域連携ICカードを軸に検討」の方針が示された。その後、新たな決済手段も普及してきたことから、上記のように、地域、事業者ごと地域特性等に応じた独自の取組を行っており、それぞれの決済手段については地域を超えた互換性がないという状況になっている。 		
関係法令			